

令和4年度第4回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和5年2月21日（火）

午後3時00分より

場 所 名張市武道交流館いきいき多目的ホール

出席者：（敬称略）

（1）委員

池田 守 （市民公募）
澤田 恭子 （市民公募）
古谷 久人 （地域づくり代表者会議副会長）
山根 秀生 （名張市身体障害者互助会事務局長）
勝木 祥文 （名張商工会議所総合商業部会長）
松本 幸正 （名城大学理工学部教授）
中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授）
平岡 祐一 （三重交通株式会社伊賀営業所所長）
瀧本 和広 （近畿日本鉄道名張駅駅長）
豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）
山村 典史 （名張警察署交通課課長）
橋本 智幸 （株式会社メイハン取締役部長）
江並 史朗 （代理出席、三重近鉄タクシー株式会社 取締役支配人）
前葉 光司 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）
松島 昇平 （代理出席、三重県地域連携部交通政策課主事）
松本 匡史 （伊賀建設事務所副所長）
中村 岳彦 （名張市副市長）
藤野 泰司 （名張市地域環境部部長）
谷本 浩司 （名張市都市整備部部長）

（2）事務局

都市整備部都市計画室3名

会議の公開・非公開 ： 公開

傍 聴 人：0名

協議案件1 令和4年度上期の取組と今後の取組について

協議案件2 「名張市地域公共交通計画（案）」について

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事

協議案件1 令和4年度上期の取組と今後の取組について

(事務局より資料に基づき説明)

- 委員 事業推進部会でいろんなことをさせていただいている中で、コミバスの紹介動画を市が作成するとありましたが、うちの学生も来年度そういったことをやりたいということで、乗り方の説明動画を作らせてみようかと思えます。市が作成すると制約等もあるかと思えますので、市民の方がわかりやすいものを作成し、市とも共有できればと思えます。
- 座長 乗り方紹介はいいなと思えました。ぜひ進めてください。コロナ禍の取組ですが、他の自治体に比べてもよくやっている印象です。川柳とバスの絵を募集して子どもとお年寄りに啓発するという素晴らしいアイデアだと思えます。また、近鉄さんにバス乗り場案内を掲示いただきました。ありがとうございます。今後も交通事業者と連携してわかりやすい情報提供をしていくのは大事だと思えます。また、名張近鉄ガスさんからはベンチを寄贈いただきました。地域の企業に公共交通を支えていただく姿勢もいいと思えますので、引き続きご協力いただけたらと思えます。また、桔梗が丘駅前のベンチ設置は乗継待合環境の改善で検討中になっていますが、土地や権利の関係があり簡単ではないと思えますが、協議をしながら取り組んでいるのでご容赦いただきたいと思えます。
- 委員 事業推進部会の中で、免許返納者への検討をしてきましたが、会議の中で、免許を返納する前の方も対象にしたかどうかという声があり、確かに免許を返納する前からどんな乗り物があってどのように乗ってどこに行けるかを把握してもらうことはいいことだと思えますので、今後部会の中で検討していきたいと思えます。
- 座長 大事なことだと思えます。返納するきっかけにもなるように公共交通を体験してもらう取り組みを考えたいということで、是非取り組んでいただきたいと思えます。利用状況について、全体の傾向として、コロナ禍で利用が沈み、その後少しずつ戻りつつある状況です。実際にコモコモ号とみどり号以外は戻りつつあります。減り続けているところはコロナ意外に要因があるので、どうしていくかをしっかり検討しないといけません。その他いかがでしょうか。特にご異論もないようですので、議事は承認とし、次の議事に移りたいと思えます。

審議結果：【承認】

協議案件2 「名張市地域公共交通計画（案）」について

- 座長 皆さんに議論いただいた計画ですが、書面審議やパブリックコメントを経て修正があったところをご発表いただきましたが、いよいよ策定の段階です。とはいえ何かお気づきの点がありましたらこの場でご発言いただければと思えます。
- 委員 P5 7 事業2 広域準幹線の継続運行について、前に利用促進に向けた取組の意見を反映していただきましたが、追加で事業主体に名張市も加えていただけたらと思えます。
- 座長 確かに「当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施します」とあり、主語は市なので事業主体には市も入るのではないかとということで、いかがでしょうか。
- 事務局 おっしゃっていただいた通り、実施主体は名張市とバス事業者の2つとさせていただきたいと思えます。

- 委員 数字の間違いで、P14の市内・市外への通勤通学者の表で、市外への通学が62,145人となっていますが、6はいらないと思いますが、いかがですか。
- 事務局 合計からみると数字が間違っておりますので、修正いたします。
- 委員 免許返納に対しての意見ですが、免許返納した人だけでなく、例えば80歳を超えた方にバスの乗車券を送付するのも1つかと思います。そうすると普段車を運転していてもバスに乗るきっかけになり、バスを使うことが習慣化して免許返納までスムーズにいくと思います。課題もあると思いますが、1つの案としていかがでしょうか。
- 事務局 本冊P59の事業7に関するご指摘かと思えます。計画の中では免許返納者への優遇措置として記載しておりますが、一定年齢以上の方への公共交通利用のきっかけとして事業推進部会の中でも検討していきたいと思えます。
- 座長 ご意見の内容は計画の中で読めるので、具体的には決まっていますが、計画の中で位置付けられているので、検討していくことは可能だということです。私の解釈ですと返納前の方に向けたものになるので、P61のモビリティ・マネジメントの乗車キャンペーンの実施といったところに位置づけられるかと思えます。
- 委員 P16にジャンボタクシーやジャパントクシーとありますが、これはどういったものでしょうか。
- 委員 ジャパントクシーというのは、一般的なタクシー車両とは違い、後ろがハッチバックになっているいわゆるUDタクシーと言われる車両で、車いすのお客さんが車いすのまま乗車ができるものを呼んでいます。ジャンボタクシーは定員7～10名のミニバンサイズのタクシーになります。
- 座長 三重近鉄タクシーさんのジャパントクシーはどのエリアで走っていますか。
- 委員 名張エリアで3台、三重県エリアで45台走っています。
- 座長 市内も走っているのですか。広めのユニバーサルデザインを表号したタクシーです。こちらは索引に入れますか。
- 事務局 そうですね。用語解説に入れるか、表の下に注釈を付けるかどちらかで対応させていただきます。
- 座長 表の下に注釈を付けましょうか。この後出てくることはないでしょうし。
- 委員 この表は弊社のホームページから取っていただいたと思いますが、今は小型、中型、大型の分けがなくなっているのかなと思います。また、三重県はハイヤー事業をしていないので、資料の表現は整えられたらいいと思います。
- 座長 ご指摘ありがとうございます。聞き取りの時期にもよるかもしれませんが、内容をご確認いただき、修正いただいてもいいですか。
- 事務局 わかりました。
- 委員 私たちはデマンド運行が理想的と思っておりますが、そうするとタクシー事業者さんをお願いすることになるのでしょうか。7～10人というのがちょうどいい人数だと思ったので。また、カタカナの意味が分からなかったので用語の解説がありがたかったです。
- 座長 もしオンデマンドを導入しようとする、市で検討するのが可能か、可能ならどこで読めますか。

- 事務局 オンデマンドは地域の需要に応じて導入できたらと検討を進めており、ラストワンマイル問題をカバーできたらと思っています。計画ではP63の事業14交通事業者等と連携した新たな移動手段の導入の中で地域の実情に合わせた移動モードの検討、実証実験等になってくるかと思っています。
- 座長 デマンドの需要がある中で、事業14で本格運行とはなっていませんが検討はできるとなっていますので、そういった声が高まれば検討に入るといってご理解いただければと思います。せっかくですので住民代表の方に一言ずつお願いできればと思います。
- 委員 名張市身体障害者互助会の者で、会員さんにも話を聞いている中で乗り継ぎが悪いというものがあり、バスの間隔が1時間で間に合わない時があったが、今は1本バスを遅らせて散歩したりしているそうです。健康にもよくて、そういった時間の使い方もあるのかと思いました。
- 座長 ライフスタイルを見直しながら、公共交通に合わせていただくのも重要かと思っています。今みたいなお話を色々ところでご紹介いただくといいと思います。
- 委員 前回も質問させていただきましたが、外部から観光等で来られる方の利用を課題として取り組んでいただけたら、まちの活性化にもつながると思います。
- 事務局 P61事業10観光振興のための公共交通利用促進策の実施の中で、観光客向けのマップの作成や、観光サイトへの公共交通の情報掲載等を行い、情報発信に努めていきたいと思っています。
- 座長 ここに位置付けられておりますので、委員さんの知恵も借りつつ具体的に取組ができたかと思っています。
- 委員 コミュニティバスの運営方針の見直しを検討に入れてほしいと思います。現在は隣り合う地域での共同運営はできないようになっておりますので、補助制度等を見直し、柔軟な運営ができるように見直していただきたいと思っています。
- 事務局 パブリックコメントの中でも提案をいただいております、P63事業13持続可能な公共交通の維持に向けた仕組みづくりの中で補助制度の見直し等地域間で連携していけるようなものを検討していきたいと思っています。
- 座長 連携や個別輸送に関しても考えることができるということですね。その他いかがでしょうか。修正点をまとめます。P14の表の人口を修正します。P16タクシー事業者の説明は事実を事務局にご確認いただき、修正してもらいます。P57事業2の事業主体に名張市を加える。この3点の修正を前提として、名張市地域公共交通計画をご承認いただけるということでしょうか。それでは、承認されましたので今後の手続きを進めていただければと思います。

審議結果：【承認】

3. その他

・地域間幹線系統について

(三重県交通政策課より説明)

- 座長 輸送量15を切ると補助対象外と非常に厳しい状況になりますので、そうならないように利用促進が必要です。観光の戻りが遅いと言われていますが、今日近鉄を利用したら賢島方面に外国の方も利用されていましたし、5月からは5類に移行ということもありますので、ぜひこ入れして色んな施策を展開いただけたらと思います。

委員 少子高齢化の時代ですので、市外からの利用を呼び込み、名張駅、桔梗が丘駅でぜひ降りていただけたらと思います。名張市と伊賀市で協力をして、忍者という資源がありますので、例えば名張駅から伊賀上野までバスで行けますという看板があればいいと思います。課題になっている地域間幹線系統も観光目的で利用促進をしていけば利用者も増えると思います。

座長 これは都市計画のセクションだけであるのは難しいと思いますが、観光や商工セクションと連携して、まずは名張の魅力を上げて、降りてもらい、バスで伊賀にも行けるという線になるかと思います。今のアイデアを参考にしていただけたらと思います。以上で予定の議題は終了となります。何より、名張市地域公共交通計画の策定となりました。ここからがスタートとなります。コロナで落ち込んで非常に厳しい状況にありますが、第8波も落ち着き、5類への移行で人出が増えていきます。名張市の公共交通利用者数が増えるよう色々なところと共に取組ができればと思いますので、ぜひ皆さまのご協力をお願いいたします。

事務局 委員の皆さまには策定にあたりたくさんのご意見をいただきありがとうございました。まずは、今あるものの掘り起こしから取り組んでいきたいと思います。以上で、令和4年度第4回名張市地域公共交通会議を終了いたします。ありがとうございました。